

防災だより

その40

防災専門官 野田 秀敏のだ ひでとし

災害と防災対策(後編)

1月号に引き続き、今回は防災への備え(風水害)を中心に紹介します。



日ごろから確認！ わが家の安全策

- ① テレビ・ラジオの気象情報に注意する。
- ② 停電に備え、懐中電灯・携帯ラジオ・携帯電話を用意する。
- ③ 非常持出品を準備しておく。
- ④ 浸水に備え、家財道具は安全な場所へ移動する。
- ⑤ 飲料水や食料を確保する。
- ⑥ 土砂災害の危険がある地域は、いつでも避難できる準備をしておく。
- ⑦ 市や防災機関の広報を聞く。

情報をいかに集めるか、これが大切です

● 天気予報と気象警報を チェック

気象情報は、早い段階からテレビ・ラジオなどで知ることができます。また、気象警報には「気象注意報・警報・特別警報」があり、災害発生のおそれがある時に、警戒を呼びかける情報です。お住まいの地域によっては「すぐに避難するか、避難を準備するか」を判断する警告になります。

● 避難情報が出ているか チェック

避難情報には、「①避難準備・高齢者等避難開始②避難勧告③避難指示(緊急)」の3つがあります。避難は、早め早めの行動が「自らの命と家族の命」を守ることになります。特に、高齢者、体が不自由な人、障がいのある人、乳幼児、妊婦のいる家庭は、早めに避難をしましょう。

避難勧告や避難指示(緊急)

を待つことなく、一ランク早い段階の避難が重要です。

● 情報配信サービスを活用

自宅の電話や携帯電話に、「①市の災害情報等配信サービス(Vinet)」、②県の防災メール・まもるくん」を登録していますか。

① 災害情報等配信サービス (Vinet)

大雨や地震などに対する早めの避難情報を手でできます。

登録方法 市役所3階防災安全課で行ってください。

② 防災メール・まもるくん

気象・避難・安否・地域の各情報、避難支援マップが輕易に入手できます。

登録方法

mamorun@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jpに空メールを送信後、返信メールに従い操作登録してください。
(下記2次元バーコードからも登録可)



避難が必要になったら

● 自主避難所(2カ所開設)

市は、避難情報が出る前の段階において自主避難所を2カ所、「①プラム・カルコア太宰府と②とびうめアリーナ」に開設します。特に、土砂災害の特別警戒区域や警戒区域、川沿いの浸水想定区域、およびその近辺にお住まいの人で危険を感じるときは、早めに避難しましょう。その際、食料品・水・毛布などの必要な品物は携行してください。

● すぐに命を守る行動を！

周辺の状況により屋外への避難が困難な場合、土砂災害

の危険がある所は、山側斜面とは反対側の部屋もしくは2階以上の部屋へ避難、浸水の危険がある所は自宅や近隣の建物の上階以上の高い場所へ避難(垂直避難)しましょう。

また、急激な豪雨や突発的な異常気象の場合は、市の避難情報が間に合わないケースもあります。危険を感じたら命を守る行動を行いましょう。

毎年発生する風水害は、温暖化の影響などで想定以上の雨量とそれに伴う被害が発生します。「自らの命は自ら守る心構え(自助)と日ごろからいかに備えておくか」が風水害の基本です。

協定避難所の一部閉鎖について

問い合わせ
防災安全課 防災対策係
(☎内線519)

市内に18ある協定避難所のうち、「⑪西日本新聞社ヘルスセンター」(坂本3-25-12)が都合により3月24日(日)をもって閉鎖されます。

今後は、お近くの指定避難所など(水城小学校、学業院中学校など)をご利用ください。

